

# 令和4年度 長崎市立桜町小学校 学力向上プラン

## 全校取組事項

### 授業改善<創造>

7月

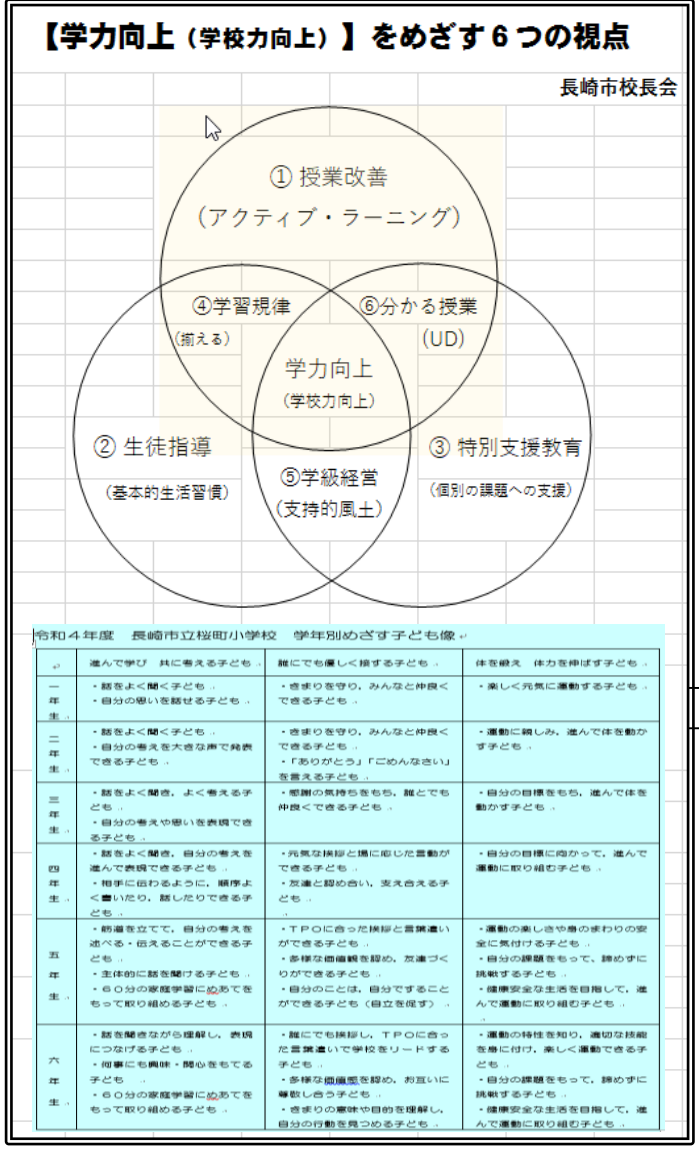
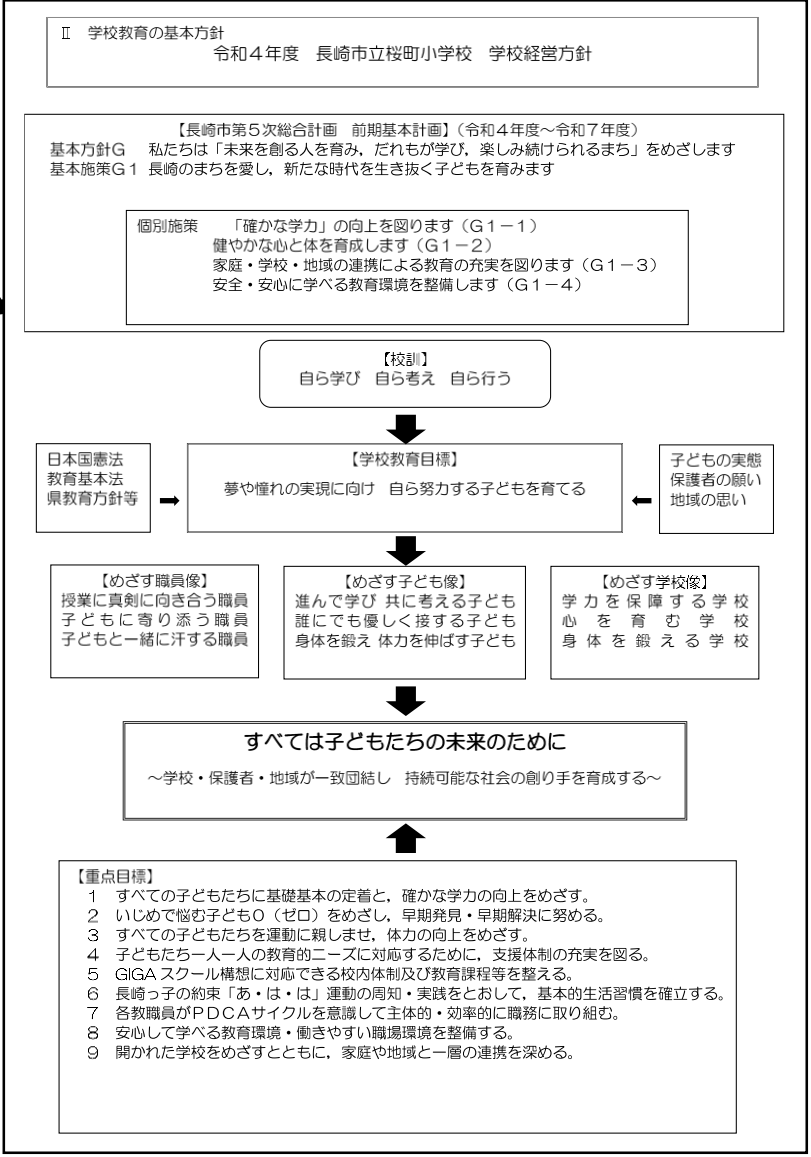
1	...
2	...
3	...
4	...
5	...
6	...
7	...
8	...
9	...
10	...
11	...
12	...

### さくらまち習慣<自立>

#### さわやかワンストップ挨拶の様子



相手の目を見て、礼儀正しく

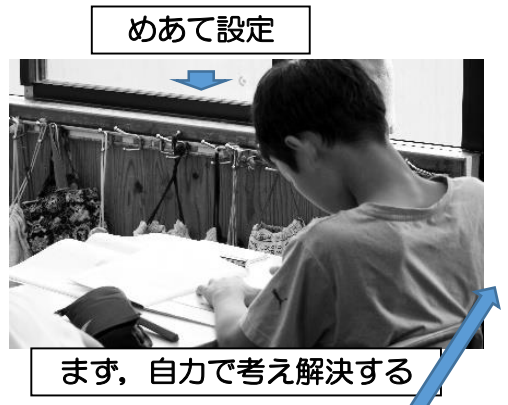


さくらまち  
みんなで はんのう ハンドサイン

	いいたいことがあります!・いいん
	にています・つ(ツ)けくわえます
	さんせいです
	しつもんです・よくわかりません

三つ(物・身・心)の構え

### 「何でもOK」全員挙手からスタート



めあて設定

まず、自力で考え解決する



自ら考え、学び合うためのハンドサイン



相手を説得するペア討議

### 縦割り活動<共生>

#### だいすき清掃の様子



縦割り班で黙々と取り組みます

#### まっすぐかかと並べの様子



両手できちんと揃えます

#### ランラントラック走りの様子



朝から走って、脳を活性化



他者の考えを聞くへそ向き姿勢

まとめと振り返り



よりよい考えへと変容する様子



令和4年度 全国学力学習状況調査  
 調査結果・質問事項等の全国平均との主な比較

○…上回っている  
 □…下回っている

- 国語、算数、理科、すべての調査で全国・県平均を上回っている。
- 文章構成や展開を考える力、目的を意識して要約する力が高い。
- 理由や根拠を書くすべての問題に、最後まで粘り強く取り組んだ。
- 話し合い活動によって、自分の考えが広がったり深まったりしている。
- 自分で計画を立てて勉強に取り組むことができる。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと認識している。
- 人の役に立つ人間になりたいと思う児童がほとんどである。
- 「将来の夢や目標を持っている」の割合が、全国・県平均を下回っている。(肯定的割合 全国:79.8% ⇒ **目標値 80%**)
- 国語への関心等の割合が全国・県平均を下回っている。  
 (国語の勉強は好きですか 肯定的割合 全国:59.2% ⇒ **目標値 60%**)  
 (国語の勉強は大切だと思いますか 肯定的割合 全国:93.3% ⇒ **目標値 90%**)  
 (国語は将来役に立つと思いますか 肯定的割合 全国:91.8% ⇒ **目標値 90%**)

改善策

**学習意欲の向上**

- わかる授業の研究
- 自ら学ぶ態度の育成
- 家庭学習の定着と家庭への啓発
- 生活を豊かにする学習への気付き

**教師の指導力向上**

- 校内研究の充実
- 探求的な学習過程の実践
  - ・あじさいスタンダードの活用
  - ・問題解決的学習の研究
  - ・ICT教育の充実

**思考力・表現力等の育成**

- 授業改善
- 考えを書く時間の確保
  - ・「学び合い」活動の充実
  - ・問題解決的学習の推進
  - ・めあての焦点化、明確化

**基礎基本の徹底**

- e ラーニングを利用した学び直しの学習
- 家庭学習の定着
  - ・家庭と連携した家庭学習の時間確保
  - ・個人の発達段階に見合った課題設定

**指導体制の充実**

- 校内指導体制の工夫 (TT等)
- 人権教育を基盤とした教育活動 (学級経営)
- 特別支援教育の充実 (UD)

3 校内研修について 研究部

- 1 研究教科 生活科・総合的な学習の時間
- 2 研究主題 「なりたい自分に近づく道筋を考え、他者と共に、よりよく課題を解決する子どもの育成」  
 ～ 育てたい力を明確にした単元の構築 ～
- 3 主題の意味  
 「なりたい自分」 → ① キャリア的な夢や目標 学校目標  
 → ② 各教科学習におけるゴールの姿 → 「夢や憧れの実現に…」  
 「近づく道筋を考え」られるように  
 → 育てたい資質・能力 (他者理解, 協働性など) を明確にもつ  
 → 「探究的な学習過程を一層重視し, ..」 学習指導要領 (P6)  
 → 課題設定と振り返りの重要性 (自己調整力, 学びの調整) 学習指導要領 (P111)  
 「他者と共に, よりよく課題を解決する子」= 学習指導要領 第1の目標  
 → 「2 他者と協働して主体的に取り組む学習活動にすること」 学習指導要領 (P119)  
 → 「(3) よりよく課題を解決し, 自己の生き方を考えていく」 学習指導要領 (P11)
- 4 研究仮説  
 生活科・総合的な学習の時間において, 実現するにふさわしい探究課題を設定し, 探究的な学習過程を踏まえた単元を構築し, 実践することにより, 主題に迫ることができるであろう。
- 5 研究の方向性
  - ① 地域学習として「桜っ子くんち」の学習過程の見直し (探究的な学習過程へ)
  - ② 育成する資質・能力を明確に位置付けた単元計画の確立 (各学年のテーマ決定)
  - ③ 横断的な学習を進めるためのカリキュラムの整理
- 4 研究内容
  - ① 探究的な学習課程の実践 (昨年は「構築」)  
 ・「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の学習過程の実践  
 ・「課題の設定」に特化した実践
  - ② 身に付けたい資質・能力の整理とその評価方法
  - ③ カリキュラムの見直し
- 5 研究組織

```

            graph LR
            A[校長・教頭] --> B[研究推進委員会]
            B --> C[全体会]
            C --> D[学年部会  
各学年会または低学年部・高学年部  
さくら部, 専門部会 (教務, 養護教諭,  
事務職員, 庁務員)]
            
```